

【問題】

症例：60歳代，男性。

主訴：右下腹部痛，発熱。

既往歴：大腸憩室炎，胆石症。

現病歴：約1週間前より右側腹部痛を認めており，突然痛みが増強し発熱も認めたので当院救急外来を受診した。嘔吐および下痢は認めていない。

入院時現症：血圧110/70，体温37.5℃，右側腹部に腫瘤を触知し反跳痛を認める。

血液検査所見：WBC 11800/ μ l (neut. 85% lym. 8% mono. 7%)，RBC 403×10^4 / μ l，Hb. 12.2g/dl，Ht. 35.1%，plt. 15.6×10^4 / μ l，CRP 8.3mg/ml，CEA 1.4ng/ml，CA19-9 1.8U/ml，その他著変を認めず。

腹部造影CT検査 (Figure 1)：入院時。

大腸内視鏡検査 (Figure 2)：入院16日目。

注腸造影検査 (Figure 3)：入院20日目。

入院後経過：入院後絶飲食，補液および抗菌薬投与にて治療を開始し症状は改善したが，内科治療にて潰瘍の治癒傾向は認めず，右側腹部～下腹部にかけ疼痛の再燃をみたため回盲部切除術が施行された。

1. 考えられる疾患は？

2. 治療は？

解答は日本消化器病学会雑誌106巻2号をご覧ください

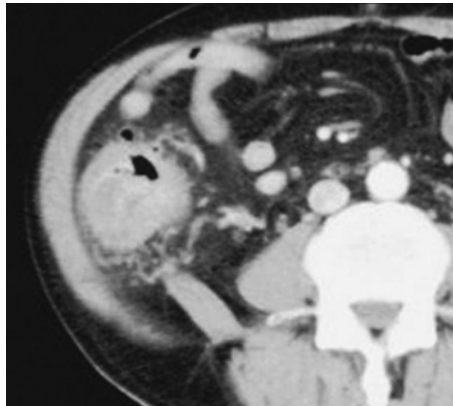


Figure 1. 腹部CT写真

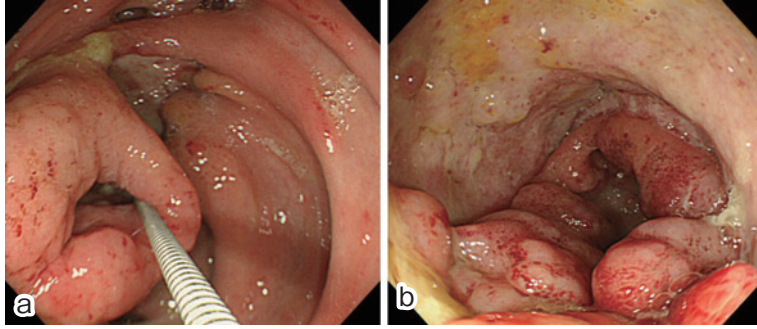


Figure 2. a : 回盲弁～盲腸付近の内視鏡写真 b : a の盲腸潰瘍部の拡大写真

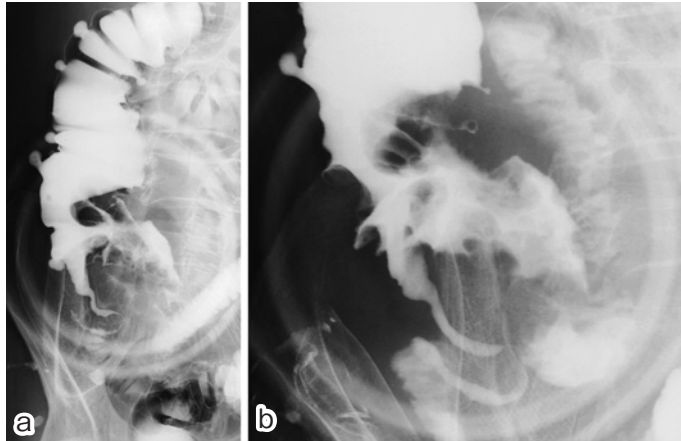


Figure 3. a : 上行結腸～回盲部の注腸写真 b : a 回盲部の拡大写真